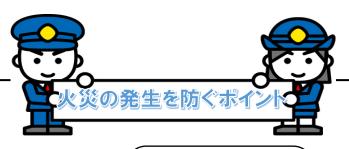
火災多発に伴う注意喚起について

甲府地区消防本部管内では、令和5年1月23日(月)に1日4件もの火災が発生しました。また、負傷者も増加傾向にあります。

この時季は、とても空気が乾燥し火災が発生しやすく、強風になると大火になる危険性を含んでいます。ここでは、令和4年中の主な火災原因(「たばこ」「こんろ」「放火・放火の疑い」)を例に、火災発生を防ぐポイントをお伝えいたします。



①たばこ

- ・寝たばこはしない、させない
- 投げ捨てをしない
- ・吸い殻の処理を適切に

寝たばこは絶対にせず、吸い殻は灰皿等に捨て、完全に消えたことを確認しよう!



②こんろ

- ・調理中はその場から離れない
- こんろの周りは整理整頓し、燃えやすいものを置かない



『大丈夫は禁物!』 もし、調理中、その場を 離れるときは必ず火を 消しましょう。

③放火・放火の疑い

- ・放火されやすい環境を作らない
- 外部から侵入できないようにする

家の周りは整理整頓して、 燃えやすいものは置かな いようにしよう。 鍵をかけることも忘れず



4)住宅用火災警報器設置の重要性

住宅用火災警報器を設置することにより、火災発生時の死亡リスクや損失拡大リスクが 大幅に減少するというデータが出ています。まだ、設置されていないご家庭は設置するよ うにしましょう。また、設置してあるご家庭は、定期的な点検をすることをお勧めします。 詳しくは、総務省消防庁ホームページをご覧ください。

12!

住宅防火関係 住宅用火災警報器を設置しましょう! | 消防庁予防課 (fdma.go.jp)

出典:消防庁ホームページ (http://www.fdma.go.jp/)